

東海 レポート

小野 盛光

第15回岐阜県スポーツ・レクリエーション祭 スポレクぎふオリエンテーリング大会

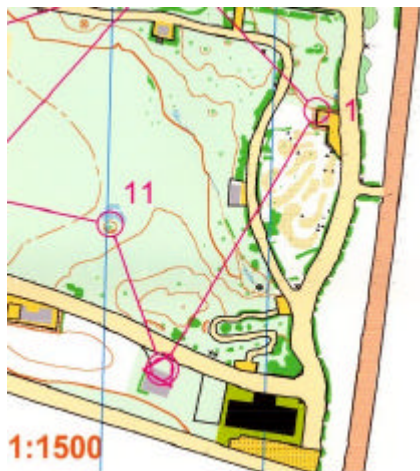
2006年9月23日(秋分の日)

岐阜県オリエンテーリング協会
牧ヶ野敏明

第15回を数えてきたこの大会も、来年度から県民体育大会との統合により装いも新たとなり、スポレク祭としては最後の大会となる。当日は、心配されていた台風も進路を変え、秋晴れのもと、30人の参加者により行われた。

上級・中級者は岐阜市の中心部にある総合スポーツ施設メモリアルセンターと長良公園の2ステージを、初級者とグループは、メモリアルセンターを舞台とした。地図は約20haのメモリアルセンターを2500分の1の縮尺で17コントロール、長良公園は約6haを1500分の1の縮尺で11コントロール。

コースは、都市内の公園であるため起伏や藪はないものの人口特徴物が多く、小さな器の中に多くのコントロールを設置することで公園内を縦横無尽に走ることを要求されるものの参加者は縮尺の違いによる走りすぎや人口特徴物の壁に阻まれるなど、公園特有の条件下でOLを楽しんでもらえたのではないだろうか。



三重スポーツフェスティバル オリエンテーリング大会

2006年9月24日(日)

三重県庁オリエンテーリングクラブ
伊藤誠厚

1週間前の天気予報では、台風14号が日本接近を伺っていたこともあり、雨も予想されましたが、秋晴れのすがすがしい好天に恵まれました。おかげで、事前申し込み者は40名あまりと寂しかったのですが、当日参加者が多く66名の参加となりました。そして、日本語がペラペラのエレンさんがWAに参加され、ちょっとだけ国際大会の気分になることができました。

今回のトレインは、都市近郊の里山とあって水田が奥部まで入り込んでおり、メインとなるトレインは耕作地によって分断され、いくつかのトレインをつなぐコースコントロールとなりましたが、それぞれのメインとなるトレインでは、微地形が発達しており、細かな尾根や沢の読み取りにかなりの人が苦戦をしいられたようです。

また、今回の新しい試みとして、大会1週間前にトレインの隣で、大会に使用しない部分の地図を使用してOL教室を行いました。授業の内容は、半日間でトレイルOL、スコアOL、ポイントOLを実施する濃縮したものでしたが、参加者が3組6名と少なかったこともあって、ワンツーマンの中身の濃い授業を行なうことができ、教室参加者は大会当日に、その成果を十二分に発揮して上位に入賞されていました。



三河オリエンテーリングクラブ大会

10月14日(土)

今年5月に開催された愛知県民大会でコントロール設置ミスによりいくつかのクラスが競技不成立ってしまった汚名を返上しようと三河オリエンテーリングクラブの松澤会長を先頭に若手による大会が新城市総合公園で開催された。

全日本リレーオリエンテーリング選手権大会愛知県チームの練習会も兼ねて行われ、約70名の参加を得た。

翌15日は第48回中日東海ブロックオリエンテーリング大会が愛知県オリエンテーリング協会主催で開催された。

2月号は以下の内容を予定しています。

- ・岡崎市民大会
- ・ねりんピック協賛大会
- ・全日本リレー東海各県の戦い
- ・新カリキュラムによるインストラクタ講習会

(写真提供：上林弘敏)